

平成 28年度

事業報告書

社会福祉法人昌平覺 児童養護施設 いわき育英舎

# 平成28年度 児童養護施設 いわき育英舎 事業報告書

## 養育方針

### I. いじめや暴力のない生活

### II. 素直な気持ちで生活

### III. みんなで創る生活

[あらゆる暴力的行為の否定と一人ひとりが人権を尊重され、安心して暮らせる生活を根幹に据えて、自分を見つめる力・他者への優しさ思いやりのところを育む。そのような生活づくりを体験できる施設での家庭的な生活を目指す]

## 権利擁護への基本姿勢

### チームワークと報・連・相

子どもと職員の信頼関係を構築していく上で大切なことは〈報・連・相〉です。適切な〈報・連・相〉は信頼を生みますが、自分勝手な〈報・連・相〉は不信感を育てます。都合よい時だけの〈報・連・相〉であってはなりません。私たちは、個々の力量と自らの成育歴や生活体験、そして自分自身の許容範囲や価値観を持っています。そうした要素に加えて、自分自身の日々の体調や気分によってはコントロールが難しい時があります。そのような時のためにも、生い立ちや価値観、自分の弱さ、苦手なこと（場面や対象）を知っておくこと、さらに、必要な時には思いおこせる意識づけが必要です。「人」に関わる場では、ことば・態度で「その人」が

伝わるからです。自分自身を高める意味でも、私たちは、気づいた時から自分づくりに努める必要があります。そのことを怠ると、やがて自分だけでなく周囲にも影響を及ぼす場合があります。なぜなら、生活場面において起こらなくてもよい大半のトラブルは、私たち大人側にその要素があるのです。

(例えば、わかっているはず・わかって当たり前・これだけ話をしたから大丈夫・もう〇〇年だから解るはずなど)

私たちには伝えるべき大人の姿が求められます。トラブルには必ず原因があります。なぜそうなってしまったのか？冷静に振り返り整理する姿勢が必要です。否定や指導のみの条件提示の関わりでは信頼関係は生まれません。独りよがりの判断のツケは高くつきます。責任の持てない判断・責任を持たない判断は「子ども」を「家」を「施設」を混乱させ落とし穴に落とししてしまうこととなります。だからこそ、〈報・連・相〉が大切なのです。疲れると体力も気力も減退します。そんな時、その場면을回避しないで中途半端な妥協をしてしまうことはないでしょうか。その言動がその後の関わりに影響することがあること、修復するにはたくさんの時間と労力が求められることを自覚しておきたいものです。

私たちは、子どもの召使いではありません。主体なく言いなりであってはいけないのです。私たちは、生活のパートナーなのです。パートナーとして子どもや職員との日々のコミュニケーションをしっかり取っていれば、そうした場面の対応も一貫性をもって対応できるはずです。

チームワークとは、目的に向かって考えを共有して進むことです。「わたしが」ではなく「私たちは」を語ることが大事です。たとえ、子どもの期待の添うことができない結果となるようなことでも、誠実に丁寧に説明することで理解は得られるはずです。信頼できる大人とは、誠実であること・謙虚であること（知らないことや苦手なことでも）。可能性に希望を持つ大人であること・大事な時に毅然と判断する大人であること・節度なく好みのケアに走らなこと・この人と少しでも長くいたい・この人の傍にいたら安心と期待がある。そんな大人が子どもにとってモデルと呼べるのではないのでしょうか。

会議等で話をし、子どもの権利擁護を意識し信頼関係の構築に努めました。

## 重点施策

### ケアの平等性

ケアを進めていくのに、みんな同じように画一化することで子どもたちを平等に扱っていると考えているとしたら大きな間違いで

す。子どもは、人格を持ったひとりの人間であり、子どもたち個々は独立した存在で、みんな違う個性を持っています。そんな子どもたちを画一化した枠に閉じ込めことはケアではありません。今までの大舎制では必要に迫られてということはありませんでしたが、今年度から小さな単位で家庭的ケアを目指してきました。個々の発達はみんな違います。サインの出し方も違います。子どもそれぞれが必要としているタイミングで応えられることがケアの基本です。わがままな要望に対して、「それはあなたの身勝手なことです」といって処理するやり方はケアではありません。そしてその要求に応えられない理由に、〈みんなと平等でないから、特別なことはできません〉とするのはどうなのでしょう。私たちには何が大事かを判断する力も必要です。結果として実現出来なくても、どうしたらその要求に応じてやれるかを考えてやること、その姿勢を子どもに示すことが大事なことです。自分のことをこんなに真剣に考えてくれる大人がいるという積み重ねは、子どもにとって、安心と希望に繋がります。そんな大人との出会いが、「いわき育英舎」という空間で体験出来たら、子どもたちは、この時間がさらに豊かなものになると思います。

職員一同共通理解をし、子どもたちが安心して安全な生活が営めるよう環境整備に努め、関係機関との連携を図りながら子どもたち一人ひとりが将来に向けて自己決定できるよう支援してきました。(卒園児5名。就職4名・専門校1名)

また、放射能から子どもたちの安全を図るために食品検査と空間線量の測定を実施しました。

#### \*子育て支援短期利用事業について

平成28年9月と平成29年3月に3日間ずつ2回の利用。

(小学生女児のべ2名)

## 入所児の状況

	年度初	年度末	増減	
幼児	1名	6名	+5名	養育困難、虐待
小1	1名	1名	0名	
小2	2名	2名	0名	
小3	0名	0名	0名	
小4	0名	0名	0名	
小5	0名	0名	0名	
中1	2名	3名	+1名	養育困難
中2	3名	3名	0名	
中3	2名	2名	0名	
高1	3名	4名	+1名	養育困難
高2	4名	2名	-2名	家庭引取り
高3	6名	1名	-5名	就職・進学退舎
<u>合計</u>	<u>24名</u>	<u>24名</u>	0名	

## 職員数の状況

	定数	実数
施設長	1名	1名
指導員	4名	4名
保育士	7名	7名
家庭支援相談員	1名	1名
事務員	1名	2名
栄養士	1名	1名
調理員	3名	3名
心理担当職員	1名	1名
嘱託医	1名	1名 (非常勤)
食品検査員	1名	1名 (臨時職員)
<u>合計</u>	<u>21名</u>	<u>22名</u>

## 行事実施報告

月	行事	場所
4月	グループ活動	ハワイアンズ
5月	体験学習(あめみや夢基金助成事業) グループ活動	北海道 ハワイアンズ
6月	いわき市政50周年記念 岩見流様招待「DRUM TAO」	
7月	太陽の里夏祭り YMCA職業体験活動	太陽の里 横浜
8月	余暇活動 体験学習(あめみや夢基金助成事業) ニツ箭荘夏祭り	福島さくら游学舎 スウェーデン ニツ箭荘
9月	体験学習(あめみや夢基金助成事業)	那須
10月	福島県児童養護施設球技大会	白河市表郷総合運動公園
11月	グループ活動 グループ活動 体験学習(あめみや夢基金助成事業) 芋煮会	こども元気センター ラウンド1 東京・横浜 育英舎中庭
12月	グループ活動 社会見学 クリスマス会	ラウンド1 トイザラス 育英舎地域交流ホール
1月	映画鑑賞(あめみや夢基金助成事業)	ポレポレいわき
3月	卒業祝う会 YMCA体験学習 YMCA職業体験活動	育英舎地域交流ホール 静岡 東京

## 入所の状況

入所理由(主訴)	
養育困難	21名
虐待	3名
現在の家族構成	
父子家庭	5名
母子家庭	15名
両親いる家庭	0名
両親いない家庭	4名

28年度 研修(出張その他の伺い記録)

NO.	開催日	主催	用務	場所
1	4月14日	児童福祉施設部会 職員研究会	総会	郡山市総合福祉センター
2	5月6日	福島県社会福祉協議会	第1回各種行事委員会	郡山市総合福祉センター
3	5月12日	東北ブロック児童養護施設協議会	総会及び研修会	岩手県民情報交流センター
4	5月19日	児童福祉施設部会 職員研究会	第1回心理職研修会	福島県青少年会館
5	5月20日	県社協 児童福祉施設部会	総会	県総合社会福祉センター
6	〃	〃	〃	〃
7	6月2日	県社協 児童福祉施設部会	第1回調査広報委員会	郡山市総合福祉センター
8	6月16日～17日	東北ブロック児童養護施設協議会	研究協議会 第一分科会	山形国際ホテル
9	〃	〃	〃 第二分科会	〃
10	〃	〃	〃 第三分科会	〃
11	6月17日	子どもの虐待防止センター	思春期以降の自立とトラウマアタッチメント	新宿レインボービル
12	6月23日	県社協 児童福祉施設部会	児童福祉施設部会 定例会	ホテル福島グリーンパレス
13	7月5日	県中央児童相談所	児童福祉施設連絡協議会	県総合療育センター
14	〃	〃	〃	〃
15	7月7日	県社協 児童福祉施設部会	第1回職員研修会	特養さわやかアイリス
16	〃	〃	〃	〃
17	8月17日～19日	福島県社会福祉協議会	キャリアパス初任者研修会	福島県総合社会福祉センター
18	8月29日	児童福祉施設部会 職員研究会	事務職員等研修	福島愛育園
19	9月15日	児童福祉施設部会 職員研究会	第2回心理職研修会	福島県青少年会館
20	〃	〃	〃	〃
21	9月24日～25日	明治安田こころの健康財団	乳幼児のこころと子育て	明治安田こころの健康財団
22	10月5日～6日	東北ブロック児童養護施設協議会	専門職研修会	秋保リゾート ホテルクレセント
23	〃	〃	〃	〃

NO.	開催日	主催	用務	場所
24	〃	〃	〃	〃
25	10月18日～19日	テレビ朝日福祉文化事業団	子どもの心に寄り添う研修会	パレスホテル立川
26	10月25日	児童福祉施設部会 職員研究会	被措置児童の権利擁護	郡山市総合福祉センター
27	〃	〃	〃	〃
28	〃	〃	〃	〃
29	11月10日	青葉学園	子どもの育ちを考える研修会	青葉学園
30	〃	〃	〃	〃
31	11月15日～17日	全社協 全国児童養護施設協議会	全国施設長研修会	京王プラザホテル
32	11月17日	児童福祉施設部会 職員研究会	第2回調査広報委員会	郡山市総合福祉センター
33	11月24日～25日	児童福祉施設部会 職員研究会	施設視察研修会	新潟市・いわき市
34	12月8日～9日	県社協 児童福祉施設部会	第3回職員研修会	白河文化交流館コミネス
35	12月21日～22日	福島県社会福祉協議会	OJT導入研修会	いわき産業創造館
36	〃	〃	〃	〃
37	1月11日～13日	ふくしま子ども支援センター	親と子どものふくふくトレーニング2017	郡山市民文化センター
38	1月27日	県社協 児童福祉施設部会	第3回調査広報委員会	郡山市総合福祉センター
39	〃	〃	〃	〃
40	2月16日	県社協 児童福祉施設部会	第3回心理職員研修会	福島県青少年会館
41	〃	〃	〃	〃
42	2月17日	〃	第2回各種行事委員会	郡山市総合福祉センター
43	2月17日	〃	まなざし40号 施設長座談会	ホテル福島グリーンパレス
44	2月23日	全社協 全国社会福祉法人経営者協議会	会計実務者決算講座	東京会場(ベルサール汐留)
45	2月25日	県社協 児童福祉施設部会	ペアレントトレーニング	福島男女共生センター
46	3月2日	県社協 児童福祉施設部会	職員研究会 役員会	郡山市総合福祉センター
47	3月10日～12日	県保健福祉部こども未来局	親と子どものふくふくトレーニング2017	ウイズもとまち
48	3月15日	県社協 児童福祉施設部会	臨時定例会	郡山市総合福祉センター